

# ΚΟΣΜΟΣ



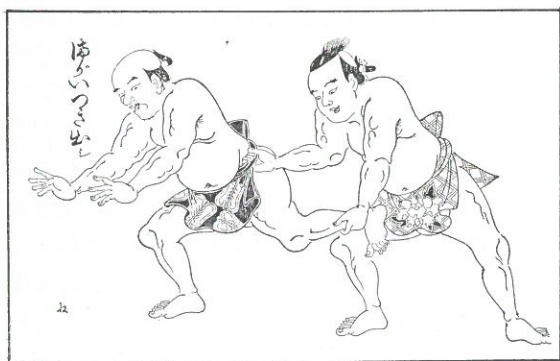
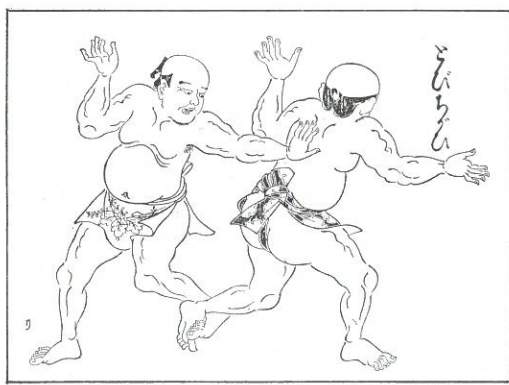
本学は1987年に100周年を迎えます

コスモス No. 70 1985 夏

特集

## 書を捨てないで、街へ出よう

—オモシロ 図書館・博物館案内—



「相撲の図式」〔元禄年間刊〕（稀書複製会本）より構成（788.1：S）

貴重書から

「建礼門院右京大夫集」  
(断簡) について

松園宣郎

**装釘** 卷子本一卷。縦29.0cm, おさえ竹・紐平緒。横160.5cm, 巻首袖22.0cm・青地布に白梅様五弁花染抜き模様・題簽・表題なし・表紙裏黄金地, 本文部138.5cm。奥書きなく「月明荘」(弘文荘反町茂雄氏旧蔵)の蔵書印。軸芯木製・軸頭硬質木材装飾。桐函入・蓋書きに書名と室町初期書写の文字が認められる。**料紙** 雲紙(内曇短冊料紙), 天(上)紫色・地(下)青色の雲形模様。**書名・分類** 建礼門院右京大夫集, 私家集(歌日記とも)。**本文** 散らし書き。井狩正司博士影印の『九州大学本同集(10行本)』15才4行目~15ウ7行目の14行・同翻刻本文第61番歌とその詞書の部分(全文の略0.6%)。**作者** 建礼門院右京大夫・本名未詳・世尊寺伊行女・保元2年頃誕生, 歌・書・楽に秀ず。父一三蹟の一人藤原行成の裔・能書家・『夜鶴庭訓抄』『源氏釈』(源氏物語注釈)著者・箏の巧者。母夕霧一雅楽寮に仕える大神家出身(八幡楽人基政女)・箏の名人・伊行の師・藤原俊成に嫁し後伊行に再嫁。作者・高倉帝中宮徳子(建礼門院・平清盛女)に出仕(17歳)・召名「右京大夫」・宮中辞去(22歳)・この間相次いで父母に死別・以後源平の争乱を経て後鳥羽帝に出仕(39歳)・俊成九十賀算に立合う(47歳)・建礼門院薨去(57歳)を悼む(同年齢)・後定家の『新勅撰集』撰進完成の頃生存(76歳)この機に本集をまとめたものと思われる(年齢は村井順氏作成の年譜による推定)。**作品** 歌数359首。構成上二つの部分から成る。前半は歌数203首(序1首)を収める。宮中女房約五年間の青春時代, 華やかな平氏政権のもとで明快な才媛として人気を博したことがうかがえ, 恋に関する歌が最も多くその夢想の時機と現実の身としての哀歎の表現が主になっている。即ち平資盛(重盛次男)との愛の中断, その哀愁中歌人・画家藤原隆信との一時的交渉を体験, 人生の悩みを深めている。宮中

出仕・辞去を経て高倉上皇崩御までの約九年に亘る回想である。建礼門院徳子への讚美と上皇崩御によるその哀傷で首尾呼応のまとまりをみせている。後半は156首を収む。前節, 平氏滅亡への悲嘆, 大原への建礼門院訪問など昔日「ただ胸にせき涙にあまる思い」に慟哭, 特に愛の復活に真実の想いを注ぐ資盛を壇の浦に失った嘆き, その「光の道を思いやれ」の言葉を胸に, 弔う者我一人の自覚をもって恋文復古を料紙に瀉き地蔵を描いて平氏供養を修すると共に追憶の日々が語られるが, そこには戦火に愛を奪われる者の憤りが認められる。思い出の七夕歌で区切られ, 後節は後鳥羽朝廷出仕以降, 平氏の人々の様変りと世の変転に驚きながらも「あはれに悲しくも何となく忘れがたくおぼゆることどもの, 思い出でらるるまに」人生をふりかえつつ, 定家のはからいによる『新勅撰集』入集歌作者名を建礼門院右京大夫としたことに老いの嬉しさをかみしめて, 筆を擱いている。なお, 全編の歌の配列は歲月順になっていない。後半部分の方が詞書は長文・多目である。前・後半夫々独立させてみることもできるが, 全体を通じて資盛愛慕の情が貫かれ, 過去に充実した人生を見出そうとしているようである。**本断簡** 資盛と始めて結ばれた時の心情を述べた部分で, この作品の性格からみれば, その人生の出発点に相当する個所である。普通の人のような恋はすまいと思いつつながら資盛をかかわることができず, 里居の一時愁いに沈む所謂「ながめ」の心情の彩が告白されている段で「夕日うつるこずゑのいろのしぐるるに心もやがてかきくらすかな」の歌と共に味わい深く鑑賞できるといえよう。その本文は, 井狩博士の校本文(10行本)に照らしてA系統第一・二類本, B系統第五類本を承ける第四類本(寛永刊本)に最も近いが, 「にしのかた」を欠き「ながめやれば」と記す点は, この断簡独特のものである。

最後に, 右京大夫は建礼門院崩御後, 尼として大原寂光院に棲み, この女院の墓所近く眠っているとされる。愛を貫いた者の人生の到達を思いやらずにはいられない。

(短期大学日本文学科助教授 まつぞの・のぶお)

## 特集

## オモシロ図書館・博物館案内

ひとつの専門について、深く掘り下げたユニークな図書館や博物館が、たくさんあります。たまには、大学図書館以外の、知のワンダーランドへ。

## 相撲博物館——SUMOの歴史

今年の6月14日から3日間にわたって、ニューヨークのマジソン・スクエア・ガーデンで大相撲の公演が行なわれました。

F E N放送では、相撲の実況中継を英語で放送し、好評を博しているようです。国技としての相撲も、すっかり国際的になりました。

相撲博物館は、酒井忠正初代館長が長年にわたって収集した相撲コレクションを基礎に、旧蔵前国技館の開館と同時に、昭和29年9月18日に開館しました。

この博物館は、国技としての相撲に関する各種の資料の散逸を防ぐために、現存する資料を一堂に集め、また相撲の歴史の調査研究を行うことを

目的としています。

収蔵品には、力士などの写真約6,000点、写真ができる前の錦絵（相撲版画）約3,700点をはじめ、明治以降の書籍・雑誌、番付、星取表、相撲人形、扇子、うちわ、軍配、装束、刀剣、等々、相撲に関するあらゆる類の資料が収集してあります。

## 利用方法

- 開館時間 午前9時30分～午後4時30分
- 休館日 土曜・日曜・祝日・年末年始
- 入館料 無料
- 注意事項 東京場所中は国技館の入場者しか入れません。
- 場所 〒130 東京都墨田区横網1丁目3番地28号  
両国国技館内  
電話03(622)0366

※蛇足 住所の一部分を「ヨコヅナ」と読まないで下さい。

早稲田大学  
坪内博士記念 演劇博物館——パフォーマンスの時代に

博物館の名称の頭についている「坪内博士」とは、小説「当世書生気質」や評論「小説神髓」などで有名な、坪内逍遙のことで、彼は、長年、早稲田大学で教鞭をとっていました。彼は一方で演劇運動にも大きな足跡を残し、女優松井須磨子を育て、また「シェークスピア全集」全40巻の翻訳を成し遂げました。

通称「エンパク」と呼ばれる、この博物館は、逍遙の古稀の祝いと「シェークスピア全集」の完成を記念して、昭和3年に建設されたものです。

このクラシックな建物のデザインは、逍遙自身の発案で、シェークスピア時代の劇場・フォーチュン座をかたどったもので、実際、たびたびここでシェークスピア劇が上演されました。

「エンパク」は、世界でも有数の演劇専門の博物館です。

図書資料としては、江戸時代の歌舞伎台本、浄瑠璃の院本、番付、役者評判記など、また洋書ではシェークスピア関係がなんといっても多いのですが、16～18世紀の英米戯曲のマイクロ・プリント版、18世紀刊行のコメディ・フランセーズの戯曲などがあります。

一方、こうした歴史的に古いものだけでなく、現在の演劇関係の図書・雑誌も継続して精力的に収集され、映画やテレビのシナリオも、アクションもの、メロドラマなどその種類を問わずに集められています。

## 利用方法

- 開館時間 午前9時～午後4時  
ただし土曜は午後2時まで
- 休館日 日曜、祝日、8月1日～9月第2月曜、  
12月29日～1月7日
- 入館料 無料
- 場所 〒160 東京都新宿区西早稲田1丁目6番地  
1号 早大構内 電話 03(203)4141(内線  
5212)

## 大宅壮一文庫——

### 「雑本」はデーヤモンド

沢木耕太郎やハロラン美美子など、すぐれたノンフィクション・ライターが受賞している、大宅壮一ノンフィクション賞という賞があります。

「駅弁大学」「クチコミ」「恐妻」など、わたしたちが今でも使っている新語を造りだし、すぐれたジャーナリストとして活躍した大宅壮一（1900～1970）にちなんで設けられたのがこの賞です。

フリーのジャーナリストとして膨大な、切れ味の良い評論を生み出したその背後には、日頃から古書展、古本屋に通って収集した、一般には「雑本」として読みすてられ、顧みられることの少ない、大量の非学術的な雑誌・雑本が存在していました。

「雑草文庫」と称されたこれらの本は実に20万冊を数えました。

大宅壮一は、この膨大な資料を十分に使いこなすために、「大宅方式」と呼ばれる「人名索引」と「件名索引」を用意し、必要な事項がたちどころ

## 統計図書館——数字をおさえる

日本の各種の統計の充実ぶりや、その数字の正確さは、日本人の几帳面さのためか、世界でもトップランクにあるといわれています。

じっさい、わたしたちが、いろいろな意思を決定していく際に、過去の数字を確認したり、それをもとに将来を予測したりすることが多いことだろうと思います。

日本の近代的な官庁統計機関は、大蔵省内に「統計司」が明治4年（1871）8月に設置されたのが最初です。同年の12月には、太政官正院に政表課が設けられ、これは明治14年（1881）に「統計院」となり、さらに明治18年（1885）に「内閣統計局」に改組されました。これが今日の総務庁統計局に発展したわけです。

統計図書館には、太政官時代の和装本のほか、明治初期からの中央各省庁、都道府県、市区町村

に取り出せるように工夫しました。

故人の遺志によって、1971年に財団法人として発足した大宅壮一文庫は、この方式を受け継ぎ、マスコミ関係の協力、寄贈によってさらに資料も増加し、なにか調べものがあると、マスコミ関係者は、まず大宅壮一文庫に飛んで行くとまでいわれ、ロッキード事件の際にごったがえすような状態になったことは、今でも語り草になっています。「大宅壮一文庫 雑誌記事索引総目録 全13巻」を白山、朝霞、工学部の各図書館で購入中です。

### 利用方法

- 開館時間 午前9時～午後5時（正午～午後1時は  
昼休み）
- 休館日 日曜・祭日・12月29日～1月4日
- 入館料 300円（他に会員制度があります）
- コピー料金 各サイズとも1枚120円
- 注意事項 非会員は資料の閲覧は1日20冊までです。会費を納入すれば、入館料が免除になり、閲覧冊数制限がなくなります。
- 場所 〒156 東京都世田谷区八幡山3丁目10番地  
19号 電話 03(303)2473  
京王線八幡山駅下車徒歩8分

および旧外地の統計資料など、他ではなかなか見ることができないものがあります。

洋書では、1890年以後の欧米を中心とした約110カ国の統計年鑑、人口センサスや国際機関の各種資料があります。

統計図書館には、閲覧室とは別に「統計相談室」が開設されており、統計局で実施した統計調査の結果や、その他統計一般の利用方法について、相談に応じてくれます。

### 利用方法

- 開館時間 午前9時15分～午後4時45分  
ただし土曜日は正午まで
- 休館日 休日
- 注意事項 資料の借出しはできません。
- 場所 〒162 東京都新宿区若松町19番1号  
電話 03(202)1111  
国電山手線新大久保駅徒歩15分  
地下鉄東西線早稲田駅徒歩15分

## ペンタックス・ギャラリー カメラ博物館 ——フォーカスの歴史

第二次大戦後しばらくまでは、カメラはドイツ、時計はスイスというのがあたりまえのように考えられていましたが、どちらも今や日本製品が世界でもっとも優秀とされるようになりました。

とくにカメラ工業は、すでにカメラという機械本体だけでなく、オプト・エレクトロニクスとして通信、医療の分野にまで重要な役割を果すまでに変貌してきました。

また最近、ジャーナリズムの世界では、写真雑誌が氾濫し、うっかり有名人にはなれない時代になりました。

こうしたカメラの歴史を見ることができるのがこの日本唯一のカメラ博物館、ペンタックス・ギャラリーです。

明治百年の記念事業として、旭光学の故松本三

郎社長は、数年間を費して世界各国から資料を収集し、約600点のカメラ・コレクションを基礎に1967年12月8日にこの博物館が誕生しました。

いまや、カメラ約2,500点、レンズなど用品類約1,850点に達し、写真や雑誌・図書などの文献類も精力的に収集されています。

### 利用方法

○開館時間 午前10時～午後5時

○休館日 日曜・祭日

○入館料 無料

○注意事項 写真・図書・文献などの資料コレクションは一部を除いて非公開。常時の展示はコレクションの $\frac{1}{3}$ ～ $\frac{1}{4}$ 程度。展示テーマの変更、特別展示がしばしばあります。

○場所 〒106 東京都港区西麻布3丁目21番地20号  
電話03(401)2186  
地下鉄日比谷線六本木駅、地下鉄千代田線乃木坂駅下車。いずれからでも徒歩8分。

## 池田文痴庵文庫および暁霞文庫（埼玉 県立浦和図書館）——風俗資料・近世 小説など

池田文痴庵（本名、信一）は、埼玉県浦和市に住んだ、菓子史の研究家、風俗資料の蒐集家でした。文痴庵は森永製菓に勤務し、東京高等製菓学校の校長を勤め、自らも池田文化史研究所を主宰しました。

彼は生前「生まれながらの雑学好き」と自ら語っていたそうですが、その蒐集に対する考え方は、彼の私淑した、あの偉大なる奇人、宮武外骨（最近また売れてきましたネー）に影響されたようです。

集めた資料は膨大なものになり、戦前の麻布の私宅は、玄関からトイレに至るまで(!)足の踏み場もないような有様だったそうです。それも、昭和20年5月24日の東京大空襲で烏有に帰してしまい、戦後集めたもののうち主要なもの約5,000点が浦和図書館に寄贈されたのです。

資料には、菓子関係を中心に、性・奇風俗関

係、書簡から駅弁包装紙・マッチレットのスクラップにまで及びます。

正史に登場しない庶民風俗を垣間みることができます。

暁霞文庫は、埼玉県北足立郡伊奈町で郡会議員や村長をつとめた加藤孝太郎氏の蔵書約5,000点が寄託されたものです。

この文庫には、往来物・教科書が多く、近世の読本・実録もの、さらに各地の絵ハガキなどもあります。

また代々名主や村長をつとめた加藤家の文書・記録類は「近世史料所在調査報告 第5集」として刊行されており、「暁霞文庫目録」と併せて、地方における知識人のありさまを見ることができます。

### 利用方法

○開館時間 午前9時～午後7時

○休館日 月曜、各月末日、祝日、4月1日、12月27日～1月5日、春秋特別整理期間

○場所 〒336 埼玉県浦和市高砂3丁目1番地22号  
電話 0488(29)2821  
国鉄浦和駅徒歩5分

## 東書文庫——教科書の歴史

教科書の出版で知られる東京書籍株式会社が、創立25周年の記念事業に、わが国初の教科書図書館として、1936年に設立しました。

現在では蔵書は13万冊を超え、明治以降の教科書のほとんどがそろっています。日本の教科書だけでなく、諸外国の教科書も約1,000冊あります。

1階には展示室があり、寺子屋の図が拡大して掛けてあり、展示ケースには、その寺子屋で使用した「江戸往来」など「往來物」と呼ばれる一種の教科書が展示してあります。

第2次大戦直後は教科書の供給が間に合わないために、戦争中や戦前の教科書の都合の悪い所に墨をぬって使用しましたが、その墨ぬりの教科書

も展示されています。

教科書や教育の歴史を調べるためには、必ず足をこぼなければいけない図書館です。

### 利用方法

- 開館時間 午前9時30分～午後4時30分
- 休館日 土曜・日曜・祝日・年末年始
- 閲覧料 無料
- 閲覧方法 所定の用紙に記入し、係の人に資料を出してもらい、所定の室内で閲覧。  
館外への借出しはできません。
- 撮影 所定の撮影届が必要です。自由にコピーすることはできません。
- 場所 〒114 東京北区栄町48番地23号  
電話 03(927)3680  
国電京浜東北線王子駅南口下車徒歩7分
- 目録 「東書文庫所蔵教科用図書目録」全3冊  
昭和54年刊(白山:375.9031:T)

## コンピュータ・サロン——

### ハイテクの時代に

1946年にペンシルベニア大学で初めてつくられたコンピュータは真空管18,000本を使った、重さ30トンもあるものだったそうです。

いまや、マイコン・ゲーム機が家庭内に入り込み、簡単なものはいろいろな機械類の中に組み込まれ、まったく身近なものになりました。皆さんの中には、自分でコンピュータを持ち、使っている方もおられることと思います。

このコンピュータ・サロンができたのは、昭和44年ですが、そのころは、だれもこんなに早くコンピュータが、身近なものになるとは想像されなかったことでしょう。

高度成長期の当時は、企業がスポンサーとなった「サロン」が、相次いで誕生しました。しかしオイルショックと低成長期に入って行くと、それらの多くは次々に姿を消して行きました。

コンピュータ・サロンは、そのようななかで生きのびてきた数少ないサロンです。このような施設を長期にわたって維持してゆくことのむずかしさと、企業の浮き沈みの激しさをものがたっています。このサロンの維持管理にあたっているのは、

名前を表面には出していませんが、富士通です。

このサロンは、本来図書館としての役割をもつだけでなく、自由に出入りして会話を楽しむ場としても考えられたようで、普通の図書館としてのイメージとはやや異り、部屋の中にはテーブルを囲んでソファも置いてあり、ホテルのロビーのような雰囲気です。

コンピュータの資料といっても、ハードやソフトの技術的なものだけでなく、業界動向や美術・文学から、コンピュータ犯罪、反コンピュータ記事、プライバシー問題にまでおよび、幅広い収集が行なわれています。

### 利用方法

- 開館時間 火～土曜日：午前9時30分～午後5時
- 休館日 日曜、月曜、祝日
- 入館料 無料(コピー代 1枚20円)
- 注意事項 資料の借出しはできません。
- 場所 〒141 東京都品川区五反田1丁目11番地15号  
電波ビル1階  
国電山手線五反田駅徒歩3分

### ★そのほかの図書館を知りたいければ★

ここに紹介した図書館・博物館以外にも、役に立つ、オモシロイ図書館・資料館がたくさんあります。白山、朝霞、工学部の各図書館に「類縁機関案内」がありますので、自由にお持ちください。

# 新免一五坊

——哲学館の青春紀行——

正岡子規は死の1カ月前「なまよみの、かひのやまめは、ぬばたまの、夜ぶりのあみに、三つ入りぬ、その三つみなを、わにおくりこし」という短い長歌を詠みました。『病床六尺』の8月19日「おくれものくさぐさ」の中に「やまめ(川魚)三尾は甲州の一五坊より」として出ているものです。子規にしてみれば、病床の師を思いその食膳にどうしても「山女」を送り届けたかった弟子の心情が、たまらなくうれしかったのでしょう。

医者<sup>あずみ</sup>の書生をしながら、山深い<sup>あずみ</sup>明見村(甲州)のせせらぎに黙々と山女<sup>いちごぼ</sup>を追った一五坊は、『子規全集』第22巻(講談社、昭和52年)に

新免一五坊(明治12~昭和16)

岡山県生。本名睦之介。のち兵庫県佐用村の藤木かたと結婚、藤木姓を名乗る。明治31年以来子規に就いて俳句および短歌を学んだ。岡山に帰郷中は蜻蛉会、山梨県在住中は白雛会等に属して後進を指導した。句は『春夏秋冬』に入集。

と録されている 明治30年7月15日哲学館教育学部

卒業の新免睦之介その人です(号はムツを一、五に分けたもの)。

33年6月2日、一五坊は<sup>おか・ふもと</sup>岡麓宅で催された園遊会に出席します。その席での子規の即興歌です。

茂春節一五坊不可得四つの玉飛びてあたりて  
砕けて散りぬ

桃沢茂春、長塚節、新免一五坊、和田不可得(性海、明治35年哲学館哲学部卒業、のち高野山真言宗管長・高野山大学学長を歴任)の4人でこれら子規門で励んだ俊英たちの熱気のさまが偲ばれます。この歌一つだけをとっても、一五坊の明治歌壇で飛動した新派の歌詠みとしての面目がじゅぶんにかがうことができるでしょう。

写真は32年12月24日蕪村忌(東京上根岸82番地邸内、およそ46人)当日の記念写真で、子規(中央)の左隣に坐っている若者が一五坊です。

風呂吹の一きれづつや四十人 子規  
の一句がその時の写真に記されています。

一五坊に関する資料としては、前掲『子規全集』のほかに『アララギ』第59巻第5~7号、『短歌』昭和59年3月号、『佐用文化』第14号等です。

なお、本学社会学部教授藤木三千人先生は一五坊の遠縁にあたります。



鳴雪

子規

一五坊

(山下清廣氏提供)

## 図書館 あ・ら・かると

### ★ 昭和59年度の統計より ★

毎年毎年増え続ける蔵書、3館あわせて60万冊を超えました。

#### I 所蔵数

	和書	洋書	計
白山	318,616	142,523	461,139
朝霞	62,814	6,641	69,455
川越	58,344	40,266	98,610
計	429,774	189,430	629,204

#### II 増加図書数

	和書	洋書	計
白山	17,163	5,921	23,084
朝霞	8,582	972	9,554
川越	2,679	643	3,322
計	28,424	7,536	35,960

#### III 館外貸出冊数

白山	52,217
朝霞	7,003
工学部	18,304

昭和60年3月31日現在

### ★ 工学部分館だより ★

4月1日より工学部分館長に上原邦雄教授（工学部機械工学科）が就任されました。

### ★ 朝霞分館だより ★

文科系全学部の新入生を迎え、にぎやかになった朝霞キャンパスも、もうすぐ夏休み。でも図書館は利用できます。詳しくは、近々カウンターで配布する「夏休み利用のしおり」を御覧下さい。

### ★ 白山だより ★

#### 開架書庫の開室時間の変更について

4月よりカウンターの昼休み時間中（13時～14時）も開架書庫を開室しています。開架書庫には自由に入出することができ、図書の借出し、閲覧の手続きを受付けます。ただし、閉架書庫の図書については、この時間、取扱いをいたしません。

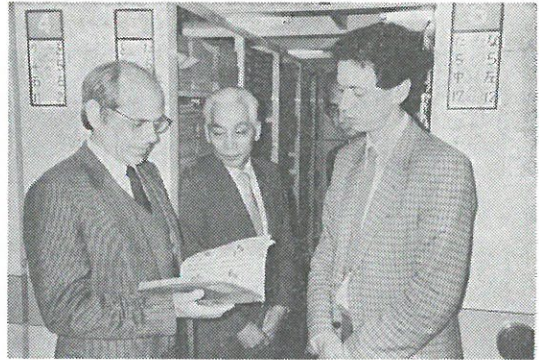
#### 図書館映写会のお知らせ

図書館では次のように映写会を予定しています。

- 10月4日（金） 砂の女
  - 11月8日（金） チャップリンの伯爵夫人
  - 12月4日（水） 王様と私
- いずれも6:00 p.m.より、第3閲覧室にて。

#### ライデン大学よりお客様

5月17日オランダ国立ライデン大学のティルマン・E・フェッター教授が来館されました。同教授はチベット語、インド哲学、仏教学を専攻されており、文学部金岡秀友教授訪問のために来学しました。図書館では哲学堂文庫と仏書を中心に、約1時間にわたり見学されました。



哲学堂文庫をご覧になるフェッター教授（左）と説明をする文学部大鹿実秋教授。

#### ▶ 編集後記 ◀

何かよい編集後記はございませんでしょうか。クローが、タエナイ。

TOYO UNIVERSITY LIBRARY INFORMATION BULLETIN **KOZMOS**

1985 夏（No.70）1985年7月5日発行 編集：コスモス編集委員会 発行人：大川信明 発行所：東洋大学附属図書館 東京都文京区白山5丁目28番20号 Tel. (945) 7314